

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	07	01	02	0409	産業情報発信事業	
総合計画	分野	しごと				
	政策	1-5	農工商観連携の推進			
	施策	2	特産品の開発			
目的	市内産業の情報発信					
対象	市民、市内企業					
意図	市内産業の振興					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
<input type="checkbox"/> はなまき産業大博覧会開催 はなまき産業大博覧会実行委員会負担金の交付 ・花巻の産業の紹介、産業（仕事）を実感できる体験、ものづくりへの興味、職業観の醸成のための企画、花巻の物産、特産品紹介、試食、販売、市民がともに楽しむイベントなどの実施						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定 <input type="checkbox"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 出展ブース数	小間		計画	100	100	
			実績	144	150	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
① 来場者数	人		目標	52,000	46,000	
			実績	46,000	44,000	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い <input type="radio"/>		概ね目標値どおり <input type="radio"/>		目標値より低い <input type="radio"/>	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
昨年度以上の出展事業者を得て、開催2日間とも来場者で終日賑わい、天候不順(1日目)の中でも前年度並みの入場者数を確保し、多くの市民に市内の産業に対する理解を深めていただくことができた。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市内産業の情報を広く発信し、多くの市民の理解を得て、職業観を醸成し、経済の活性化を図ることは市の責務である。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	事業開催の継続的なPRにより、市民と企業の周知拡大を図ることが可能となることから、向上の余地は高い。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最小限の人数及び費用で事業を実施しており、削減の余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある	
	<input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内すべての市民や企業を対象としていることから、受益機会は均等である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある	
	<input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
これからの花巻を担う子供たちに市内産業への興味を持たせるとともに、地元企業への就業意識の動機づけを図ることによって、雇用拡大と市内産業の振興に資することが期待できる。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 商工労政課 課名 商工労政課 担当係長 伊藤浩之 内線 388

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	07	01	02	0409	産業情報発信事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		25,000	23,000		△ 2,000
財源 内訳	国・県				
	地方債				
	その他		1,270		1,270
	一般財源	25,000	21,730		△ 3,270

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	---	-------	------	-----------------

部経営方針における目標
多様な産業の集積を促し、それらの連携による付加価値の拡大を図ります。
就業機会の拡大と人材の円滑な確保を図ります。

事業開始の背景・経緯
これまで市内全産業の全体像を広く市民に情報発信するイベントがなかったことから、主要産業を一同に会しての大博覧会を実施しようとするものである。

事業概要
○はなまき産業大博覧会開催
はなまき産業大博覧会実行委員会負担金の交付
・花巻の産業の紹介、産業（仕事）を実感できる体験、ものづくりへの興味、職業観の醸成のための企画、花巻の物産、特産品紹介、試食、販売、市民がともに楽しむイベントなどの実施

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等
来場者からは、肯定的な評価を得ている。

- ・圧倒的に「楽しかった」、「良かった」、「継続してほしい」という意見が多い。
- ・子どもが「体験」できるイベント、ブースがかなり好評であった。
- ・子ども大人も楽しむことができ、家族連れも多く、博覧会は集客力が高い。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

■はなまき産業大博覧会 **23,000**千円

市内の産業に対する市民の理解を深めるため、産業版「花巻まつり」として、広く市民に情報を発信し、本市産業の振興に資するとともに、これからの花巻を担う子どもたちの市内産業への興味や職業観の醸成により、地元企業への就業意識の動機づけを図る。

- 《内容》
- ①花巻の産業の紹介
 - ②産業（仕事）を実感できる体験
 - ③ものづくりへの興味、職業観の醸成のための企画
 - ④花巻の物産、特産品紹介、試食、販売等
 - ⑤市民が共に楽しむイベント
- 《運営方法》 はなまき産業大博覧会実行委員会を組織し運営する。

(収入) 単位：千円

項目	金額	摘要
負担金	23,000	花巻市
計	23,000	

(支出) 単位：千円

項目	金額	摘要
総務費	1,036	消耗品費、印刷費、通信費、報償費ほか
広報費	2,769	チラシ、広告料（テレビ、ラジオ）ほか
事業費	11,028	各産業のパビリオン、イベント、体験コーナー、物販ほか
会場設営	7,668	会場設営、電気工事、音響設備ほか
警備費	499	警備、清掃、保険ほか
予備費		
計	23,000	